

日産自動車と電気自動車を活用したカーボンニュートラルなまちづくりに関する連携協定を締結

問 総合政策課 (☎82・1362 / IP ☎88・9074)

日産自動車株式会社、奈良日産自動車株式会社と、電気自動車を活用したカーボンニュートラルなまちづくりに取り組むことを目的として、1月31日に連携協定を締結しました。



左より日産自動車株式会社 後藤理事、金剛市長、奈良日産自動車株式会社 田代代表取締役社長

【連携協定締結の経緯】
様々な取り組みを進めていくうえで、「カーボンニュートラルによるグリーン社会の実現」を新たな視点として捉え、大和高原の中心のまちとしてサステイナブルな地域づくりを目指す宇陀市と、電気自動車の普及促進を通じて、脱炭素、災害対策等において、地域課題解決を目指す、活動されている日産自動車株式会社の考えが合致し、連携協定を締結しました。

- 【連携協定事項】
- ①電気自動車の普及に関する事項
 - ②再生可能エネルギーの普及に関する事項
 - ③災害時の支援に関する事項 等

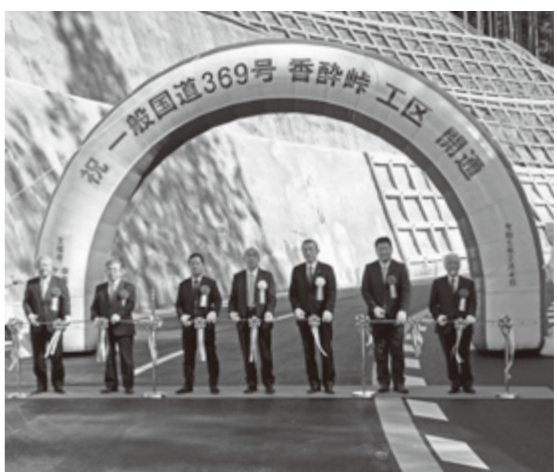


▲電気自動車による給電デモンストレーション

国道369号香醉峠工区開通式

問 建設課 (☎82・5638 / IP ☎88・9095)

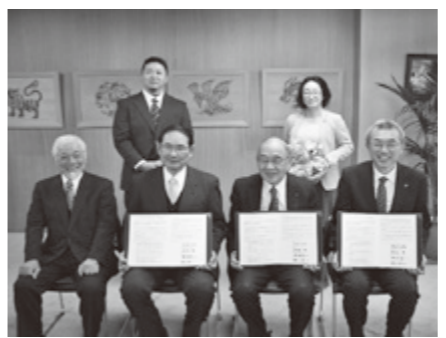
奈良市都祁吐山町と榛原赤瀬を結ぶ国道369号香醉峠工区の改良工事のうち、残っていた赤瀬地区の整備完了を記念し、奈良県によるセレモニーが行われました。国道369号は、県東部地域における観光や物流を支える幹線道路で、大型車の通行も多い一方で、改良工区は急カーブや急勾配の箇所があり、大型車の速度低下により、交通に支障が出ていました。工事により、問題箇所が改善され、安全向上や救急・消防活動、緊急輸送の経路として機能強化が期待されます。



大宇陀政始北部地区の特定農業振興ゾーンに関する協定を締結

問 農林課 (☎82・3679 / IP ☎88・9096)

農地の有効活用や農業の生産性の向上を図るため、奈良県が設定する、特定農業振興ゾーン、県下10番目の地区として大宇陀政始北部地区が設定され、1月30日に、奈良県、宇陀市および地元農業者が連携・協力して各種施策に取り組みため協定の締結をしました。同地区では、大和高原宇陀ブランドによる農業振興を目指した高収益作物(軟弱野菜、大和の伝統野菜等)の生産拡大等に向けた取り組みを行っていきます。



(手前左側より) 大和高原南部土地改良区 井上源一 理事長、大宇陀政始北部地区農家 柳本豊一 代表、荒井知事、金剛市長
(奥左側より) 阿騎野農園 中川裕一 代表、株式会社 SakuraFarm 中谷房代 代表取締役

ごみの減量にご協力ください！ 家庭用生ごみ処理機 補助金を交付します

問 環境対策課 (☎82・2202 / IP ☎88・9078)

家庭用生ごみ処理機または処理容器を購入し、ごみの減量に取り組まれる方に、予算の範囲内において購入費用の一部を補助します。資源循環型のまちづくりを目指すため、家庭から出る水分量の多い生ごみを効率的に減らし、家庭菜園の肥料として再利用するなど、身近なことからできるSDGsとして生ごみ処理機の利用が注目されています。
※申請受付は、先着順とし予算がなくなり次第終了します。

【補助対象機種】

令和4年4月1日以降に購入し、令和5年3月20日までに申請されたものが対象となります。

生ごみ処理機乾燥式	生ごみ処理機バイオ式	生ごみコンポスト容器	生ごみ EM ボカシ容器
かくはんしながら電気で生ごみを加熱し、乾燥させる方式で、臭いが出ないのて屋内で使用できます。	保温等により微生物が活動しやすくし、生ごみを分解し堆肥化させます。	庭や畑に置き、土の中の微生物等により生ごみを分解、発酵させ、堆肥化します。	ボカシと呼ばれる微生物により生ごみを分解し、堆肥化させます。

【補助を受ける要件】

- ◆過去5年以内に当補助金の交付を受けていない方
- ◆市税の滞納がないこと
- ◆近隣住民、住宅等に迷惑をかけない等の設置場所を確保していること
- ◆処理機等から作られた堆肥の活用を自ら適切に行えること
- ◆処理機の維持管理を自ら行えること

【補助金額】

購入金額(消費税除く)の1/2(以下の限度額あり)

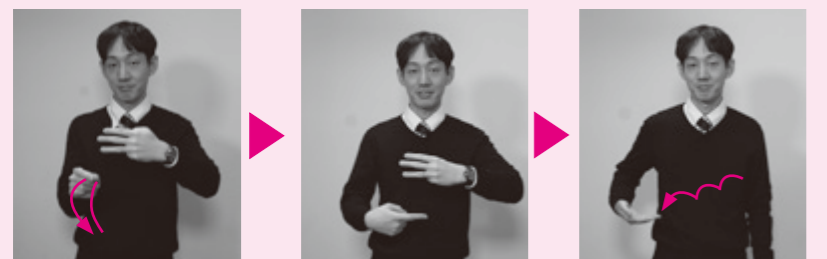
容器の種類	限度額
生ごみコンポスト容器	1世帯につき2個まで 1個につき3,000円
生ごみ EM ボカシ容器	1世帯につき2個まで 1個につき2,000円
生ごみ処理機(電動式または手動式)	1世帯につき1台 30,000円

卒業式はいつ？



【卒業】頭を下げながら賞状をもらう様子
【式】指先を上向け4指を同時に直角に曲げる。
※いろいろな表現があります
【いつ?】両手を上下に置き、同時に親指から順に折り握る。

3月1日 水曜日です



【3月】左手で漢字の「三」を表し、その下に右手二指で「三日月」の形を作る
【1日】左手はそのまま、右手で「一」を表す
【水曜日】右手の平を上に向け、水が流れるように斜め右下に引いていく



旅立ちの季節です。楽しかった思い出を胸に、新しい一歩を踏み出しましょう。

第32回

特集

市政トピックス

うだちから

まちのわだい

みんなで子育て

病院・ウェルネス

お知らせ

掲示板

うだちチャン

新型コロナウイルスワクチン接種（オミクロン株対応ワクチン）について

接種期間の延長について

これまで広報うだやホームページ等で、新型コロナウイルス接種の実施期間は令和5年3月31日までとお知らせしていましたが、「今後の新型コロナウイルスワクチン接種について」の国の指示により、4月以降も当面の間、必要な接種については、引き続き自己負担なく接種できるようにするとの方針が示されました。詳しい接種期間などは3月上旬ごろに厚生労働省ワクチン分科会で協議される予定です。

【接種対象者】

・初回接種（1・2回目接種）を完了した12歳以上で、従来株のみのワクチンの最終接種から3か月以上経過している方

※コロナワクチンの接種は、人により3回目・4回目・5回目となる場合がありますが、オミクロン株対応ワクチン接種は現時点では1人1回となります。（以前にオミクロン株対応ワクチンを一度接種された方は、接種することができません。）



新型コロナウイルスワクチン集団接種会場終了のお知らせ

現在、総合体育館で、新型コロナウイルスワクチン集団接種を実施していますが、3月26日（日）をもって終了します。集団接種会場（総合体育館）での接種を希望される方は、3月24日（金）までにお申し込みください。

また、市内医療機関での個別接種は引き続き実施しています。接種には必ず予約が必要です。各医療機関の予約方法に従って予約してください。令和5年4月以降は、接種できる医療機関や予約可能日が減少するため、接種を希望する方はお早めに接種してください。

新型コロナウイルス接種に関するお問い合わせ

市新型コロナウイルス接種対策室
☎96・9030 / FAX 82・7234
午前9時～午後4時

市立病院内に、地域医療支援センター・総合診療科を新設します

令和5年度よりさらなる地域医療の発展を目指します。

2023年4月から西尾健治医師（現、奈良県医科大学付属病院副院長、奈良県医科大学総合医療学教授）が、市立病院で勤務されます。地域医療部に、地域医療支援センターを新設し、また総合診療科外来も新設いたします。西尾医師には、同センターのセンター長として着任いただき、総合診療科外来も担当していただく予定です。

西尾医師について

2014年7月より奈良県立医科大学総合医療学講座 教授就任。
1998年1月には約2年間榛原総合病院時代に小児科部長として勤務。
2005年県立医大救急科准教授。
2011年医大総合診療科を立ち上げ、現在39人の医師が総合診療科に加入するまでに築き上げる。



▲西尾健治 総合医療学教授

※5月号にて地域医療支援センター・総合診療科を特集予定

天川村診療所で勤務を続けておられ、地域医療の実践も継続しておられます。

地域医療支援センター（予定）とは
市立病院地域医療部内に組織されます。地域連携課では、病院間の連携、退院支援、訪問診療・往診、移動診療車での診察や検診、ワクチン接種等を行っています。来年度からは、西尾センター長の下の市民の皆様がアクセスしやすい、面倒見のよい医療を提供し、これまで以上に地域医療へ力を入れていくこととなります。

総合診療科外来（予定）とは

「総合診療」とは、2018年より新設された、医師の基本的専門分野の1つで、内科や外科といった区別ではなく、1人の患者様を様々な角度から総合的に診る診療科です。なかなか病気の原因や病名が特定されない症状（不明熱、体重減少、全身倦怠感、未診断・末期悪性腫瘍など）に対して、問診・診察・検査を行い、診断・治療に結びつけていったり、適切な診療科へ紹介したりすることで、患者様の健康問題を解決するための診療科です。

西尾医師は、4月からの総合診療科外来を週2回担当いただく予定となっております。残りの3日間も地域医療部の医師が担当いたします。

市立病院ではこれまで以上に、地域医療分野を拡充し、より受診しやすいよう、面倒見の良い病院と言われるように努めて参ります。

高齢者等見守りに関する協定を締結

介護福祉課 ☎82・3675 / IP ☎88・9088

高齢者等お知らせ隊は、民間事業者に協力を求め官民共同のもと地域における高齢者等の異変を察知し、情報提供や通報などの連携体制により、高齢者等への安心・安全な暮らしの提供等を目的に組織されています。

2月7日に有限会社岡村、榛原水質環境社と新たに協定を締結しました。今後も民間事業者と連携し、高齢者などの方々が安心して快適に暮らせるまちづくりを目指していきます。協定締結に際し、2社に協力事業者のマグネットシールをお渡ししました。

※過去に協定を結んでいた事業所には追ってマグネットシールをお渡しします。



▲市内で巡回や活動を行う際、車両等につけていただきます



▲左より榛原水質環境社 松本重寛 代表と金剛市長



▲左より有限会社岡村 西口鐵也 代表取締役と金剛市長

3S Triple Slogan お知らせ

「自分でできる」を増やせる「リハビリを！」

第4回

今月はさんとぴあでのリハビリ（理学療法）についてご紹介します。（理学療法）についてご紹介します。私たち理学療法士はリハビリの専門職として、現在3人在籍しています。筋力強化訓練や歩行訓練、認知機能訓練等、各々に合わせたリハビリを個別で実施しています。生活の中での介助量を軽減し、自立度を向上させること、つまり「自分でできる」ことを増やしていただきたいと思っています。住み慣れた地域・ご自宅への在宅復帰や在宅生活の継続を目指し、杖や歩行器、靴などの選定に始まり、住環境の確認にて住宅改修などのご相談にも乗らせていただいています。

施設入所中は在宅復帰を目標に、退所されたからは通所リハビリ（デイケア）で在宅生活の継続を目標に、引き続き個別リハビリを実施



リハビリのことならお任せください！！

▲左から川上、谷本、辻岡